

N2事故 (GK破損事故) シリーズ⑤

N700系車両歯車箱破損事故で業務委員会を開催！

4月9日、東海労本部とJR東海会社間で、N2事故に関する申し入れに対する業務委員会を開催しました。

N2事故は、現在のところ最終的な事故原因が究明されていないので、同型車両を運用しているJR東海で同種の事故が起きないとは誰にも言えません。

従って、JR西日本の車両が同社エリア内で発生させた事故とはいえ、JR東海も同型のN700系を多く運用していることや事故にあたってJR東海から緊急出動していることなどから、他社のことだからと言ってられないはずの事故なのです。

ところが、業務委員会での会社回答は『他社の事柄であり、回答する立場にない』というのが主な回答で、とても事故を真摯に受け止め、安全のために対策を講じようとしているとは思えません。回答は以下(業務速報No713より)の通りです。

他社の事柄であり、回答する立場にない！

1. 事故発生前後の詳細な状況を明らかにすること。

【回答】 JR西日本の情報によると以下である。平成22年3月3日、20時40分頃のぞみ56号(N700系、N2編成、JR西日本所属)の車掌は西明石～新神戸駅間走行中、お客様からの申告により12号車に煙が充満していることを認め、指令に報告した。新神戸駅にて床下点検をしたところ、12号車NO3歯車箱の一部が破損しているのを認め、お客様の降車手配を行った。

歯車箱内には油が残っていたため、小移動による車輪の回転を確認後、当該列車を新大阪駅まで速度30キロ以下で回送した。0時16分当該列車は新大阪駅に到着し、当社社員が床下点検を実施したところ、歯車箱内に油が無い状態であったため、搬送仮台車を装着後、大一両へ収容した。これによりお客様救済のため後続列車の臨時停車を行ったほか、始発列車までお待ちいただく場所として、東京駅、名古屋駅、新大阪駅にて新幹線車両、在来線車両を開放し約200名のご利用があった。【本当にGKに油が残っていたのかなあ！？】

2. 歯車箱の破損の原因を明らかにすること。

【回答】 現在、JR西日本が調査中である。

3. 歯車箱の製造会社及び製造年月日を明らかにすること。

【回答】 他社の事柄であり、回答する立場にない。【回答したら何か不都合があるのかな！？】

4. JR東海の車両に同種の歯車箱が使用されていれば、直ちに運行を停止し歯車箱を交換すること。

【回答】 そのような考えはない。【調査とか称して、こそっと取替してないでしょうね！？】

5. JR東海における再発防止対策を明らかにすること。

【回答】 現時点では原因が判明していないが、当社としては車両所での仕業検査、交番検査時に歯車箱装置の外観からの入念点検を実施している。【外観を入念点検？？？】

6. 同編成は新神戸から新大阪駅まで回送されているが、仮搬送台車を使用せず走行させた判断は誰がしたのか明らかにすること。

【回答】 JR西日本で判断した。(誰なんでしょうね！？)

7. 新大阪～鳥飼車両基地間は仮搬送台車を使用しており、仮搬送台車不使用での走行は安全上極めて問題であるとする。会社の見解を明らかにすること。

【回答】 他社の事柄であり、回答する立場にない。【見解ぐらい明らかにしてもいいのでは！？】
(主なやり取りはシリーズ⑥以降で報告します)